



風しんの 予防接種は受けましたか?



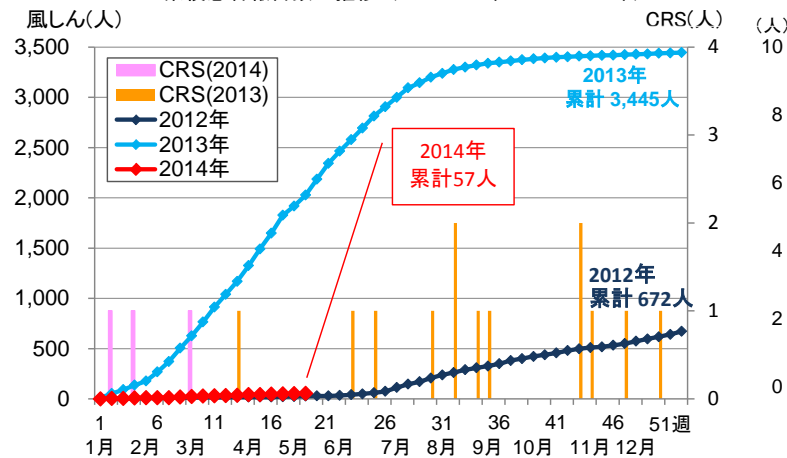
2014年5月30日
東京都健康安全研究センター

1 風しん・先天性風しん症候群の流行状況（5月25日まで）

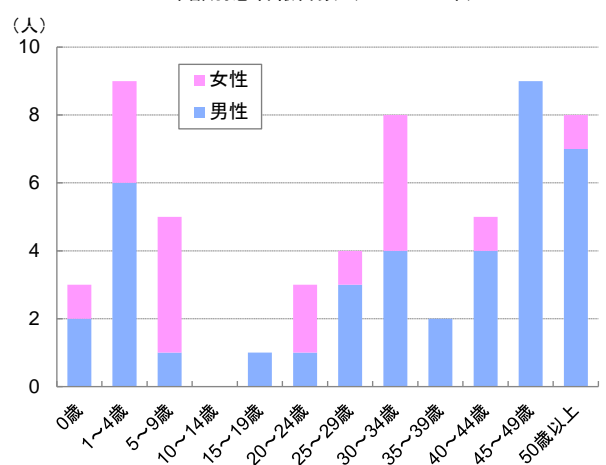
東京都内の2013年の風しん患者報告数は3,445人と2012年の約5倍となりました。2014年の報告数は57人です。

また、都内の先天性風しん症候群(CRS)の報告数は13人になり、調査が始まって以来、最も多くなりました。2014年はすでに3人が報告されています。

累積患者報告数の推移（2012年～2014年）



年齢別患者報告数（2014年）



2 予防接種を受けましょう

予防接種(ワクチン)が効果的な予防方法です。自分自身はもちろんのこと、家族や周りの人々を風しんから守るためにも予防接種を受けましょう。

妊娠した女性(特に妊娠初期)が風しんにかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気があるなどの症状が現れる先天性風しん症候群という病気を持った子どもが生まれる可能性があります。

患者の多くは成人男性です。流行を抑えるには女性だけでなく、成人男性の予防接種が重要です。

◇ 特に、妊婦さんと接する家族や周囲の方(友人や職場の同僚等)は予防接種を受けましょう。

◇ 都内の区市町村では予防接種の費用や抗体検査の費用を助成している自治体があります。

【詳しくはお住まいの区市町村の予防接種担当窓口におたずねください。】

3 お子さんは定期予防接種を受けられましたか?

麻疹・風しんの予防接種は法律に基づき公費負担(無料)で受けることができます。

対象者 第1期: 生後12か月から24か月までの人

第2期: 5歳以上7歳未満の人で、小学校就学前1年間

<小学校入学の前の年の4月1日から入学する年の3月31日まで>

* 東京都感染症情報センターの「風しん」のページもご参照ください。

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/>

